

坊垣 香理 岐阜県岐阜市 四十二歳

「どうするんだらうね。本当に。」

今日も私はどんぐりの木を見上げてため息をつきます。

子供らが小さいころ、夫は子供らが持って帰ってくるどんぐりを北側の庭に植えました。

ミカンからとれた種を四粒も子供らと一緒に南の庭の隅っこに植えていきました。夢のない私は「夢があつていいなあ。」と思いつつ、「芽なんかでないだらうな。」と思っていました。

あれから数年、どんぐりは一階の屋根より大きく成長しました。多分たつぷりと根を張っていることでしょう。ミカンも大分大きくなり、今では四本もの木になりました。いつかは実もなるのでしょうか。

でも夫も子供も興味は全くありませんが、切ろうとすると怒ります。

いいのかね本当に。